

解説

解説 1 全面腐食, 応力腐食割れ, 腐食疲労, エロージョン・コロージョン

■全面腐食

金属表面が局部的でなく、均一に腐食する現象

■応力腐食割れ

金属が一定持続荷重下で侵食性環境の影響を受け、著しく脆化（ぜいか）して破壊する現象

■腐食疲労

金属が腐食性の環境下で繰返し応力を受け、静的強度よりはるかに低い応力によって破壊する現象

■エロージョン・コロージョン

エロージョン（流れや固体粒子による機械的な侵食）と、コロージョン（腐食性溶液中での電気化学的な腐食）との相乗作用により、金属が減肉する現象

解説 2 バグ曲線

バグ曲線とは、プログラムの試験中に発見した不具合（バグ）の累積件数を、X軸に時間、Y軸にバグ累積件数で表現したグラフにプロットしたものである。テストとバグの発見・修正を繰り返すことにより、バグ曲線は初期に急激な立上りを示し、後期に平坦（へいたん）となる（図）。平坦となった時点で、プログラムの完成度は高水準に達したものと判断することができる。このように、バグ発見件数の推移によりテストの進捗状況とプログラムの完成度が把握できる。

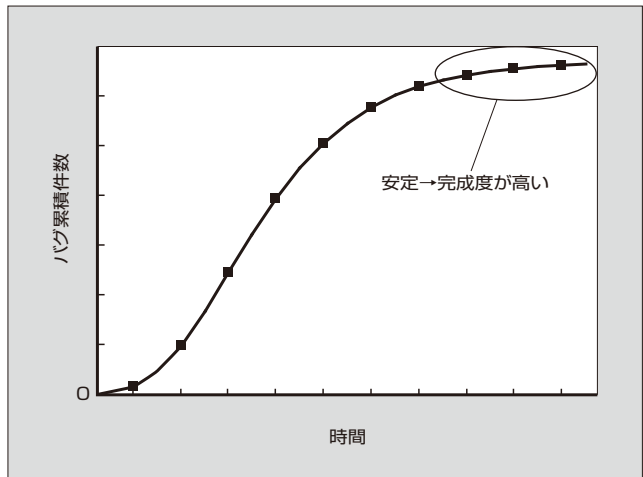


図 バグ曲線の例





*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。